

第1回 岡山大学文明動態学研究所 吉備古代史研究会

科研費
KAKENHI



吉備古代史の諸問題

2026年12月19日(土)

会場: 文法経1号館
セミナー室2-9 ZOOM併用

これまで考古学研究は列島社会の複雑化・統合にはたした吉備の大きな役割を明らかにしてきましたが、それに対応すべき古代史研究では吉備が積極的に取り上げられることはありませんでした。本研究会では考古学・古代史学が協力して古代吉備の実像を考えます。吉備の多角的な検証により列島社会の変容解明の新天地を切り拓きます。

事前申込必要

前日まで



【報告】

13:30~14:30

今津勝紀(岡山大)「野中寺蔵金銅弥勒菩薩半
跏像の栢寺知識をめぐって」

14:40~15:40

平野友梨(県古代吉備文化財センター)「吉備南
部の横穴式石室—盟主墳から捉える小地域性」

1600~17:00

野崎貴博(岡山大)「福輪寺縄手の位置と成立
時期に関する考古学的検討」

◎申し込み:

参加を希望される方は、左のQRコードからお申し込みください。
折り返し詳細をご連絡いたします。

問い合わせ先: 岡山大学 文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp

主催: 岡山大学文明動態学研究所

共催: 科学研究費学術変革領域研究(A)「マテリアマインド: 物心共創人類史学の構築」(代表: 松本直子)・同「環境とヒトの相互構築史: 汎太平洋の比較研究による文理統合的研究(人間と環境班)」(代表: 山口 徹)・基盤研究(A)「災害文化を内包する地域の記憶継承に資する地域歴史資料学と地域形成史の構築」(代表: 奥村 弘)

